

Most Likely To Succeed



映画 Most Likely To Succeed 上映会と 南砺の「これからの学び」を考える

2020年3月8日（日）13:30～16:30（13:00～開場）

会場：福光会館2階会議室 参加費：無料
（南砺市福光 7336-4）

プログラム

- 13:00～ 開場・受付
- 13:30～14:00 あいさつ・講師のお話
- 14:00～15:30 Most Likely To Succeed 上映会
- 15:30～16:30 感想の共有とワークショップ

お申込み・お問合せ：南砺市エコビレッジ推進課 0763-23-2050

映画 Most Likely to Succeed とは？

「Most Likely to Succeed」は、「人工知能 (AI) やロボットが生活に浸透していく 21 世紀の子ども達にとって必要な教育とはどのようなものか？」というテーマについて、「学校は創造性を殺しているのか？」TED トークで著名なケン・ロビンソン卿、カーンアカデミーのサルマン・カーン氏、ハーバード・イノベーション・ラボ所属のトニー・ワグナー氏などの有識者や多くの学校取材を 2 年間積み重ねられ制作されたドキュメンタリー作品です。

作品では、米国のカリフォルニア州にある High Tech High というチャータースクールに通う 2 人の高校 1 年生の成長を追いかける過程で、日本と同様な受験偏重型教育と、生きる力を身につける実践的な教育のバランスをどう考えるかなど、国は違えど似た状況も多く、教育を取り囲む様々な視点について考えさせられます。親や教育者の悩みに触れ、有識者の意見や子供の変容を受け止めて、我々の置かれた環境を今後どのように変革していくべきかという事を、我々一人一人が自分ごととして考え、その場に集まる仲間と意見交換するという目的で上映会が開催されています。(FutureEdu Tokyo ホームページより転載)

南砺市の「これからの学び」とは？

南砺市は山間地から平野部まで変化に富んだ多様な自然環境、祭りや伝統工芸、食など古くから伝わる文化、国際的なアートイベントのなど地域資源が豊富で、これらを活かした「学び」が実践されています。今回は、金沢を拠点に SDGs の実践に取り組まれている永井三岐子さんをお迎えし、映画の上映会とともに、南砺市の「これからの学び」をテーマとし、ライフスキル（非認知能力）や PBL（問題解決型学習）などについて、知り、考え、これからの学びに求められる姿、家庭で取り入れるべきこと、そして、自分たちができることなどについて多様な立場の方々と話し合い、考えを深められたらと思います。

講師 永井 三岐子 氏 国連大学 IAS いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット事務局長

フランスで民間会社勤務の後、JICA モンゴル事務所で水資源管理や過放牧の問題、国連大学グローバル環境情報センターで気候変動への適応策研究に従事。JICA-JST 気候変動適応策 プロジェクトコーディネーターとして、タイカセサート大学と東京大学のプロジェクトに参画。これまで一貫して環境分野での国際協力業務に従事。2014 年より現職。現在は、地域にある国連機関の強みを活かし、石川の自然、文化の豊かさを研究と国連の場で発信するとともに、自治体への政策提言を軸として、SDGs の実践、異分野の協働、共創を石川全域で推進。金沢市出身。上智大学フランス語学科卒業、政策研究大学院大学修士（国際開発学）。



↑ 映画の PV サイト

●お申込み

3 月 4 日（水）まで 下記にファックスかメールでお申し込みください。

南砺市エコビレッジ推進課 Fax : 0763-82-5101 email : ecovillageka@city.nanto.lg.jp

お名前

ご所属

ご連絡先



↑ 上記 QR コードからも
お申込みいただけます。
QR コードは (株) デンソーウェブ
の登録商標です